



WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)



UNITE
FOR
GOOD
よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

よいことのために手を取りあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツオ
国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

●会長 窪田 秀徳 ●副 会 長 内河 利夫・飯島 幸宏
●幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

第3007回例会 (令和7年12月15日)



ホームページQR

【年次総会】 三井英和 会長エレクト
次年度役員構成について



【退会挨拶】

織 英子さん



【会長挨拶】 窪田 秀徳 会長



皆さま、こんにちは。本日は、2025年の
締めくくりとなる12月最終例会です。

今日、上田ロータリークラブの2025年の
「総会」を迎え、皆様のご承認を賜り、三井会長エレクトが描く
さまざまな目指す方向性に向けて、各事業・活動の根幹を担う
一枚岩の「役員・理事体制」が整いました。いよいよ次年度に
向けた新たな動きが、本格的に始まります。

皆様の引き続きのご理解とご協力を、心よりお願い申し
上げます。

今日は、少し視点を変え、エレキギターの二大巨頭である
「フェンダー」と「ギブソン」の話をしたいと思います。1950年代
に登場した名器、「ストラトキャスター」や「レスポール」は、70年
以上経った今もなお世界中のミュージシャンに愛され続けて
います。なぜ、それほどまでに時代を超えて支持されるのか。
その理由は、実は“ロータリー”にも通じる、普遍的な教訓を
含んでいます。

1. 最初から「完成された理念」を持っていた

「フェンダー」も「ギブソン」も、登場時から“デザイン”と
“サウンド”が完成されていたためでしょうか？70年たっても価値
が揺らいでいないと思います。これはまさに、ロータリーが持つ
創業以来の理念—「奉仕の理想」—と同じです。上田ロータリー
クラブの70年近い歴史の根底には、先輩方が守り続けてきた
“変わることのない奉仕の精神”があります。理念が揺らがない
からこそ、どんな時代でも活動の軸がぶれない。私たちは、
その「完成された思想」を受け継ぐ者です。

2. 時代を象徴する人々が磨き続けたから価値が続いた

名器には必ず、それを象徴する名プレイヤーがいました。

エリック・クラプトン、ジミー・ペイジ、ジミー・ヘンドリックス……。彼らが奏でた音が次の世代の憧れとなり、文化を
つなぎました。ロータリーも同じです。上田クラブにも、
時代ごとにクラブを支え、私たちに道を示してくださった
多くの「名プレイヤー」がいます。その足跡を継承し、次の世代
に渡していくのは、今この時代に生きる私たちの役目なのかも
しません。

3. 変わらぬ“アイコン性”が存在を支える

ギターのシルエットを思い浮かべると、「ストラト・キャスター(フェンダー)」や「レスポール(ギブソン)」の形が自然と
脳裏に浮かびます。同じように、ロータリーのマーク、四つの
テスト、そして例会の姿。これらは私たちにとっての「文化的
アイコン」です。それを見るだけで、「奉仕の心」「仲間との絆」
「地域への責任」が自然に思い出されるのではないでしょうか。
これは約70年間、クラブを積み重ねてきた皆様のおかげです。

4. 変化に対応しながら、根本は変えない柔軟さ

名器が愛され続けたのは、時代ごとに小さな改善を続け
ながらも「本質」を絶対に変えなかったからです。上田ロータリー
も、同じ道を歩んでいます。社会環境が激変する今、私たちが
担う地域の課題、未来への責任はますます大きくなっています。
しかし、変えてはならないのは、「地域のために仲間と力を合わせ
“絆”を意識する」という精神ではないでしょうか。これは本年度
テーマ「地域と仲間の絆物語」そのものと言えます。

5. 私たちが未来に向けてすべきこと

「フェンダー」と「ギブソン」は、単なる楽器メーカーではなく、
音楽文化そのものを形づくりました。ロータリーも、単なる
奉仕団体ではなく、地域社会の価値をつくる存在として歩ん
できたのではないでしょうか。私たち一人ひとりの行動が、未来の
上田の文化の一助隣、次の世代のロータリアンを育ててきた
のではないでしょうか。歴史と伝統を誇りにしながら、“今
だからこそできること”を実行し、未来へとバトンを渡して
いくことに意義があると思います。

今年一年、皆さまの真心と行動に支えられ、クラブは確かな
一歩を積み重ねることができました。ロータリアンが、「2025年の
上田クラブの仲間たちは素晴らしい音を奏でていた」そう思って

●例会/毎週月曜日 12:30~13:30 ●会場/上田高砂殿=上田市天神2-2-2

●事務所/〒386-0024 上田市大手1-10-22 上田商工会議所内 ●TEL/0268-25-1039 FAX/0268-25-3711

e-mail : ueda-rc@oboe.ocn.ne.jp

もらえるような“絆の旋律”をこれからも一緒に奏でていきたいと思います。私の会長任期も半分を過ぎようとしています。この約6ヶ月を過ぎて思うことは、クラブ計画書に書かれてある様々な事柄は、結構タイトであった様に思います。皆さんにも沢山の出席いただきたいと申し上げてきたことも多くあろうかと思います。ロータリークラブは大人の会です。社会人としてリーダーとして自らに一定の負荷を与え、さらに自分を高めていく場でもあります。そのための仲間づくりこそが自分を太らしてくれ、仕事を通じた奉仕活動に深みを与えてくれる大切な存在である様な気がします。だからこそ、微力な私をお支えいただき、皆様にとって価値ある団体であるよう、来年も努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。本年大変にお世話になりました。そして、来年も引き続きよろしくお願ひします。

【会員卓話】

尾台 修一さん

皆さん こんにちは。

令和7年7月7日というスリーセブンの日に長い歴史と伝統のある上田ロータリークラブに入会させていただきました、上田信用金庫の尾台でございます。信用金庫として多くの皆様に日頃より大変お世話になっておりまして、誠にありがとうございます。



ロータリークラブでは、現在、クラブ会報・公共イメージ向上委員会に所属させていただいております。いつも、藤森委員長をはじめ、委員メンバーの皆様に助けられておりまして、心より感謝申し上げます。微力ながら、今後も精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、金融機関としてお客様の財産を守るという立場から、手口が巧妙化し被害が拡大している「特殊詐欺の防止」についてお話しをさせていただければと思います。

警察庁の統計によりますと、昨年一年間の特殊詐欺の認知件数は21,043件、被害額は718億7,727万円となっております。つまり、一日あたり約1億9千万円ものお金が、騙し取られているという計算になります。今年は10月時点で、認知件数・被害額とも昨年を大きく上回っておりまして、認知件数22,657件、被害額1,096億7千万円となっておりまして、過去最悪のペースとなっております。

特殊詐欺は、被害者の約6割が「手口を知っていた」にもかかわらず、被害にあっているとも言われております。特殊詐欺のことを知っていて気付けていても、電話やメール・SNSなどを通じて、巧みに心の隙を突かれ、騙されてしまうのが実情です。また、かつては特殊詐欺の被害者は9割が65歳以上の高齢者でしたが、最近では、20代から30代の被害が3割ほどを占めており、詐欺の舞台が「固定電話」から、「スマートフォン」「SNS」「メール」「投資サイト」へと変化していることから、若い世代にも被害が拡大しております。

特殊詐欺の種類は多岐にわたっておりますが、手口はますます巧妙化しております。

今日は特殊詐欺の代表的な手口と実際の事例を紹介させていただき、皆さんに詐欺撲滅のために、理解を深めていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

①オレオレ詐欺

親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭を騙し取るものです。最近では、警察官や公的機関などを名乗る者から、「あなたの口座が資金洗浄事件に使われている」「あなたにマネーローンダーリングの容疑がかかっている」「身の潔白を証明するためには、警察で現金の番号などを調べる必要があるため、指定する口座に預金を移してほしい」などと指示され、多額の資金を送金してしまうという被害が多発しております。特に、警察官を名乗り、捜査名目で現金を騙し取る手口である「ニセ警察詐欺」による被害が最近では顕著となっております。ニセ警察詐欺では、「逮捕を免れるためには全財産を調べる必要がある」などと資金調査を名目として、被害者の全財産を騙し取るものであり、被害額が高額化しております。また、LINEやビデオ通話をを利用して偽の逮捕状や・警察手帳の画像を見せて信用させ、振込や送金を迫るものも出てきております。

(代表的な事例) 被害者宅に通信事業者の社員を名乗る男から電話があり「携帯電話が使えなくなる。」と言われ、続いて警察官を名乗る男から、「あなたの口座が勝手に作られていて、犯罪資金の振込先になっている。」と言われた。さらに続けて電話があり、今度は検察官を名乗る男から「私が保証人となり、口座が凍結されないよう手続きをします。」「指定する金融機関でインターネットバンキングを開設してください」と言われ、被害者は、相手から指定された金融機関で新しく自分名義の口座を開設し、口座番号や暗証番号を伝えた。

さらに検察官を名乗る男から、「お金を新しく作った口座に集めてください。」「集めたお金を調べます。」と言われ、新しく作ったインターネットバンキングの契約口座に銀行預金を集めました。その後、被害者が口座残高を確認したところ、インターネットバンキングを利用され預貯金を騙し取られた。

※最近、犯人が指定する金融機関にインターネットバンキングの口座を開設させ、被害者が所持する複数の口座をひとまとめにさせた上で、口座を不正操作して預金を盗み出す手口が増えております。「マネーローンダーリングの容疑がかかっている」、「資産を調査する必要がある」というのがキーワードとなっておりますので、注意が必要です。

②還付金詐欺

市町村職員や税務署職員等を装った犯人が、医療費の還付等に必要な手続きがあると言ひながら、言葉巧みに被害者をATMに誘い出して操作させ、口座間送金により現金を振り込ませる手口の詐欺です。

(代表的な事例) 被害者宅に市役所の職員を名乗り、「医療費の還付があります。今日が締め切りですので、今日中に手続きをしてください。還付金の受け取りは、ATMでできますので、携帯電話とキャッシュカードを持って、お近くのATMへ行ってください。ATMに着いたら、また、お電話ください。」と電話があり、3年前から病院に通院中であった被害者は、過去の通院に伴い支払った医療費の還付金と思い込み、自宅近くのATMへ向かった。

被害者は、ATMに到着するとすぐに犯人に電話し、指示された通り、ATMの画面を押したところ、口座内のお金が

ほとんどなくなっており、通帳を確認したところ、見覚えのない口座へ振り込まれており、預金が騙し取られていた。

※還付金がATMで返ってくるはずはないという当たり前のことであっても、今日中に手続きをしなければならないと言われて焦らされると冷静な判断が妨げられ、周りが見えなくなってしまうものです。ATMで電話をしている人を見かけたら、是非、窓口の金融機関職員へお知らせいただきたいと思います。

③預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行協会職員等を名乗り、「キャッシュカードが不正に利用されている」「あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要である」などの名目で、キャッシュカードやクレジットカードなどを騙し取るものです。
(代表的な事例) 被害者宅に、警察官を名乗る男から「警察で捕まえた犯人の中に銀行員がいて、あなたの名前を偽造したキャッシュカードを持っていた」「あなたの口座から不正にお金が引き出されているため、カードを使えなくする必要がある。これから銀行の職員がお宅に伺い、キャッシュカードを交換する」などと電話を受けた。

その後、銀行員を名乗る男が被害者宅を訪問し、「キャッシュカードを使えなくするので、キャッシュカードを見せてください」「手続きのため暗証番号を教えてほしい」と言われ、被害者は男に暗証番号を伝え、キャッシュカードを手渡したところ、その後、お金が引き出されてしまった。

※金融機関職員が店舗外や電話で暗証番号を聞くことは絶対にありません。また、キャッシュカードを預かることもありません。電話で「印鑑やキャッシュカードを取りにいく」「手続きのために暗証番号を教えてほしい」といわれたら詐欺ですので、注意が必要です。

④架空料金請求詐欺

「サイト料金が未納である」「契約不履行につき、あなたに対する裁判の訴状が提出された」「パソコンを使用中、画面に急にウィルス感染している旨の警告表示が出た」など、架空の事実をメールやはがき、封書、電話、パソコンのディスプレイなどをを利用して告知し、その料金や訴状取り下げ手数料、和解金等を請求し、指定した預貯金口座に現金を振り込ませるなどの手口の詐欺です。

(代表的な事例) 被害者がパソコンでインターネットサイトを閲覧中に、画面に「ウィルスに感染しました」と表示されたため、表示された連絡先に電話をしたところ、サポートセンターの職員を名乗る女から「パソコンを修理するために、修理料と保証金が必要」「コンビニで電子マネーを購入してください」と言われ、被害者は指示通り、コンビニで電子マネーを購入し、電子マネーの番号を伝えた。その後、さらに料金を請求されることから不審に思い、警察に相談して被害に気づいた。

※最近では電話を利用する「ボイスフィッシング」という被害も出ております。これは法人口座を狙ったもので、その手口は、犯人が銀行関係者をかたり、企業に電話をかけ、メールアドレスを聴取、聴取したメールアドレスに不正メールを送信して偽サイトに誘導し、ネットバンクの認証情報等を入力させる、そして犯人は取得した認証情報等を利用し、

法人口座から企業の資産を全て抜き取ってしまう、というものです。発信元の電話番号が「+」から始まる国際電話の場合は詐欺電話の場合が多いです。また、通話中にメールアドレスを聽かれ、リンク付きのメールが送られてくる場合がありますが、全て詐欺であり、そのようなメールは開かないように注意してください。

⑤SNS型投資詐欺

最近、全国的に被害が急増しているものがSNS型です。インスタグラムからのダイレクトメールやユーチューブのバナー広告からの被害が増えております。投資すれば利益が得られるものと誤信させ、投資関連のアプリケーション・インターネットサイトに誘導し、アプリケーション等の画面上では犯人の都合のよいようにうその利益を表示させ、「実際に利益が出ている」と勘違いさせることにより、偽の投資を継続させながら、更なる利益のため増資を募ったり、出金手数料名目などで金銭を騙し取る手口の詐欺です。

(代表的な事例) SNS上に掲載されていた投資関連の広告にアクセスしたところ、投資家を名乗る相手からメッセージが届き、「利回りの高い投資商品の情報を教える」「説明した通りに投資するだけで必ず儲かる」などと投資を勧められた。

相手から紹介された投資関連のインターネットサイトにアカウントを開設し、インターネットバンキングを使って相手が指定した口座にお金を振り込み、相手が指示したタイミングで取引したところ、サイトの画面上で利益が出たため、複数回に渡り、お金を振り込んだ。その後、サイト上で十分な利益が出たため、利益分を引き出そうとしたところ、相手と連絡が取れなくなった。

※アプリ上では利益がどんどん増えていくようにみえたが、出金しようとした途端、連絡が取れなくなった。サイトも消え、資金は戻らず・・・といった「画面上だけで増える利益」に騙されるケースが急増しており、注意が必要です。投資に「絶対」や「確実」はありません。「必ず儲かる」「確実に利益が出る」といった儲け話は詐欺の常套句です。「あなただけに教える」といった投資の誘いは、まずは疑うことが大切です。

⑥SNS型ロマンス詐欺

SNSのメッセージ機能を通じて、メッセージをやり取りするなどして、恋愛感情や親近感を持たせた上で、投資詐欺と同様に投資金名目や利益の出金手数料名目で金銭を騙し取る、あるいは、交際を続けることを前提に様々な名目で金銭を騙し取る手口の詐欺です。

(代表的な事例) SNS上で外国籍の異性と知り合い、チャットのやり取りを続けていたところ、「愛している」などの甘い言葉により、あたかも恋愛をしているかのような気分にさせられた後、しばらくして「大きな仕事が入った」「病気になった」などと切り出され、様々な理由をつけて、金銭を一時的に立て替えてほしいと告げられ、複数回にわたり、現金を振り込んだ。さらに、近々会いに行くことを匂わされ、「渡航費用が必要」「会ったときにお金は返す」と約束され、現金を振り込んだが、当日になると事故や事件が起こったなどと理由を付けられ、さらに金銭を要求された。

※直接会ったことのない人からお金の話をされたら要注意です。

「2人の将来のために」とか「投資でお金を増やそう」などと言つて、お金を振り込ませようとする相手は信用してはいけません。また、振込先が個人名義の場合は詐欺の危険性が高いので、注意してください。

いずれの事例も、詐欺の共通点は「人の心理」を巧みに突いてくるということです。犯罪グループは、われわれの「不安」な気持ちや「焦り」、そして「信頼」する気持ちまでを巧みに利用してきます。そして、特殊詐欺の被害者の多くは、「自分は騙されない」と思っていた人たちばかりです。騙されないと思っていても、いざ遭遇すると、騙されてしまう、だから、どんな事例があるのか知ること、他人事(ひとごと)ではなく自分事として捉えることが大切になってきます。

私たち金融機関では、高齢のお客様が「多額の現金を急に引き出す」「誰かに電話しながら取引をしている」など違和感があった場合はすぐに声をかけ、すこしでも怪しいと感じたら、警察に連絡し、警察と連携を取りながら、お客様を説得させることに注力しております。時には、お客様から「自分のお金をどう使おうが関係ない」と叱りを受けることもありますが、私たち金融機関には、「お金を守る」「人を守る」責任があります。お客様のわずかな違和感を見逃さない目、そして温かく声をかける勇気、その積み重ねが地域の信頼と安心につながるものと考えております。

上田市でも、今年は、IT関連を名乗るものから投資勧誘を受け、複数回にわたって暗号資産を送金した詐欺事件、SNSで「携帯料金未納」の通知のメッセージを受け、指示に従って振り込んでしまった事案、SNSの副業広告を信じ、指示通り振り込んでしまった事案などが発生しております。

特殊詐欺は形を変えながら、今も地域の安全を脅かしております。特殊詐欺はもはや個人の問題ではありません。地域の絆が弱まるところに、犯人はつけ込んできます。ぜひ、ロータリークラブの皆様も、家族や社員、地域の中で、特殊詐欺のことを話題に出していただき、詐欺被害のない安心な地域を、みんなで守っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

拙い発表でしたが、最後までご清聴いただきありがとうございました。

上田 ロータリー クラブ 出前講座 | 職業奉仕委員会 委員長 桑澤俊恵さん

12月8日(金) 上田商工会議所 5F

MANABI外語学院本年度卒業予定者約100名対象に出前講座を行いました

講師：出田 行徳さん 題名「わたしたちの物づくり」
講師：上原 文明さん 題名「みんなの知らない花火」



第9回 上田 ロータリー クラブ出前講座
MANABI 外語学院

【幹事報告】

湯田 勝己 幹事

1. 地区事務所

白鳥年度「年次報告書」URLについて

2025-2026年度2580地区大会のご案内

2025-2026年度RLI PartⅢ 開催のご案内

2. 佐久RC 2025-2026年度 I.M.・会員セミナー開催のご案内

3. 上田東RC 地区補助金事業

「災害に対応するための救急方法を学ぼう」報告書

*島田太一会員が会社の都合ですでに転勤しておりクラブを退会いたしました。

【ニコニコBOX】

小山 宏幸 委員長

飯島幸宏さん 出田行徳さん 伊藤典夫さん 内河利夫さん
小幡晃大さん 金子良夫さん 木本昂さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 関啓治さん 関勇治さん 高橋鼓さん 滝沢秀一さん 竹田和徳さん 成澤厚さん 布施修一郎さん 保科茂久さん 三井英和さん 宮川泰さん 柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん

本日喜投額 25名 ¥ 31,000

累 計 ¥963,000

【例会の記録】

司会：鈴木 芳明 会場・出席委員

齊唱：ロータリーソング

●年次総会 次年度役員構成について

●退会の挨拶 織 英子さん ●会長挨拶 ●幹事報告

●会員卓話 尾台 修一さん

●『ロータリーの友』紹介 保科 茂久さん

【ラッキー賞】

成澤 厚さん(窪田秀徳さんより)

東京恵比寿のお菓子と窪田建設のカレンダー)

布施修一郎さん(柳澤雄次郎さんより とらやの羊かん)

小山 宏幸さん(桑原茂実さんより 飯田のお土産)

宮川 泰さん(保科茂久さんより ジャパニーズジン和美人)

関 啓治さん(佐藤倫さんより とらやの羊かん)

木本 昂さん(柄澤利弘さんより

静岡限定ビール)



【出席報告】

鈴木 芳明 会場・出席委員

	会員数	出席ベース	出席者数	出席免除(b) ()内は出席者数	出席免除(a)	メークアップ ()内は Make up後	出席率
本日 (12/15)	52	50	38 コロナ欠席 0	4(2)			76.00
前々回 (12/ 1)	52	51	40	4(3)		3(43) コロナ欠席 0	84.31

【次回例会予定】

1月13日(火) 新年合同夜間例会 場所：東急REIホテル

(1月5日発行)

【会報担当】 高橋 鼓 会報委員